

53 東播磨の身近な水辺再生プロジェクト

【き】 身近な水辺を守り育てたい

東播磨には、加古川をはじめ豊富な水資源があります。平成15年度から、その中でも最も地域に身近な川やため池を守り育てていこうと、地域ビジョン委員会でグループを結成しました。

【概】 地域の人たちとともにため池の素晴らしさを伝えていきます

平成15年度は、峠池というため池がある良野町内会の人たちとともに、峠池に自生するレンコンを食べる「スローフードフェア」や「ミニフォーラム」を開催し、大盛況でした。

平成16年度は、「水辺の達人」養成講座を開催し、水辺の豊かな体験や知恵を伝える指導者の育成に取り組みました。全7回で、各講座は30名ほどの定員でしたが、延べ300人余の参加がありました。

【成】 地域の人たちが、自分の地域の魅力に気づいて…

良野町内会の人たちと、峠池の魅力を伝えるイベントをしかけたときは、「町内以外の人たちが、こんなにたくさん支援に来てくれるなんて」と涙を流して喜んでくださいました。達人養成講座ではいろいろな地域の人々の参加があり、水辺の魅力を発見し、守るノウハウを地域に提供できました。その中には、池で取れるブラックバスを食べる企画もあったのですが、「食べる」ことを通じて環境保全の意識を高めるのは非常に有効だと分かりました。誰もおいしいものが取れる場所を汚そうとは思わないからです。

【夢】 「いなみ野ため池ミュージアム」をめざして

東播磨にはため池が多く点在していますが、それらの地域をまるごと博物館に見立てた地域づくりが進められています。東播磨にどんなため池があって、それぞれにどんな魅力があって…というように、訪れた人を案内するミュージアムの拠点になる場所が、駅の近くなど利便性の良いところにできればいいなと思っています。



別府川再生に向けたイベント「身近な水辺再発見！」

水辺に学ぶプロジェクト

代表者氏名: 畠山恵子
活動地域: 東播磨(明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町)
ホームページ: <http://www.inamino-tameike-museum.com>
e-mail: tama-k@sage.ocn.ne.jp

組
と
も
に
取
り
組
み
等

良野町内会

峠池の魅力を伝えるイベントなどとともに開催しました。

活用した支援

東播磨ツーリズムモデルツアー・イベント事業、会議室の提供(兵庫県)



当事者を巻き込んでいるのがポイントです

たとえば、点字ブロックはその上を歩く人だけでなく、そこにつえを当てながらその横を歩かれる方もいます。このような、当事者でなければ気づかないたくさんのバリアをともに検証したことにより、先入観を排除し、当事者の視点でマップをつくることができました。



先方にとっても良い取り組みであることを説明

東播磨地域は、加古川やため池をはじめ、水関係での豊かな地域資源を持っていますが、兵庫県下の中では最も観光客が少ない地域だそうです。海岸沿いの豊かな地域資源を有効に活用するためにも、海岸沿いを走っている山陽電鉄のバリアフリーは重要だと考え、地域で5,000人以上の利用客がある8つの駅を検証することにしました。

駅で検証するに当たっては、山陽電鉄の営業所長さんに当たって砕けろで電話をかけました。バリアフリーの検証ですから、施設の欠陥ばかりを書かれるのでは、と最初は警戒されましたが、「もっとたくさんの人に、海岸沿いの山陽電鉄を使っただくために、お手伝いをしたい。そのためのバリアフリー検証なのです」という自分たちの目的を丁寧に粘り強く語り、説得しました。今では、分からないことがあればメールで答えてくれるなど、良い関係を築けています。

求ム!

「当事者の声を発信する」お手伝いをするため、そしてより多くの方にバリアを体感してもらうためには、まだまだネットワークは不十分です。スタッフや参加者の募集はもとより、当事者の方々とネットワークしたいと考えています。ぜひ一緒に!



西二見駅での見学会

読者の皆さんへのメッセージ

我々は「一歩前へ出る勇気を持って!」を身上にしています。どうぞ、私たちと一緒に、一歩前へ踏み出して、バリアフリーの先進地域にしていくために活動しませんか。協働・パートナーシップ・ネットワークが、これからの民主主義の礎になるはずです。自助互助の精神で、ぜひ一緒に!